

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成21年度病害虫発生予察 防除情報第20号

きゅうり 黄化えそ病・ミナミキイロアザミウマの防除対策について

きゅうりの黄化えそ病、ミナミキイロアザミウマの発生が多い傾向ですので、下記に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

(1) 黄化えそ病

病害虫防除所への診断依頼において、11月5日から現在までに、RT-PCRによる検定で9件確認している。

(2) ミナミキイロアザミウマ

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.2%(平年0.1%)、発生圃場率は33.3%(平年5.2%)と、平年より多い発生であった(図4、5)。



図1 黄化えそ病初期症状
(葉脈透過)



図2 葉脈に沿った退緑



図3 えそ斑

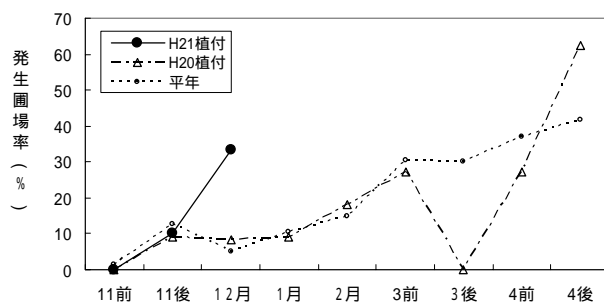


図4 ミナミキイロアザミウマ 発生圃場率の推移(巡回調査)

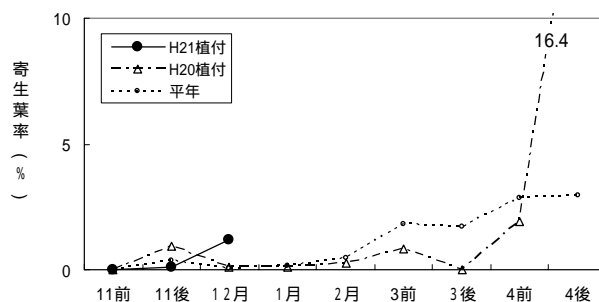


図5 ミナミキイロアザミウマ 寄生葉率の推移(巡回調査)

2. 防除上注意すべき事項

(1) 黄化えそ病

- ア 本病を媒介するミナミキイロアザミウマの侵入防止・早期発見・早期防除に努める。
- イ 発病株の早期発見に努め、発見した場合は速やかに抜き取って施設外に持ち出し、土中に埋めるか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。

(2) ミナミキイロアザミウマ

- ア 하우스内および周辺の雑草はミナミキイロアザミウマの生息・増殖源となるので除去し、

環境衛生に努める。

- イ 発生が多くなってからの防除は困難であるため、青色（もしくは黄色）粘着トラップを施設内に設置し、早期発見・早期防除に努める。
- ウ ミナミキイロアザミウマは芽に潜り込みやすいので、芽かきした摘葉は残さず集めて施設外に持ち出し、土中に埋めるか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。
- エ 強い薬剤抵抗性を持つことが報告されているので、防除薬剤の選定にあたっては十分留意する。また薬剤の感受性低下を防ぐため、同一成分系統薬剤の連続使用を避け、ローテーションで使用する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027